

※結果分析(○できている ●できていない)

<学力調査>

【国語】

- 【話し合いの様子の一部】における谷原さんの発言の理由として適切な物を選ぶことが正答率100%でした。全国平均よりも14.5ポイント高いです。
- 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことでは、録画90%、反省90%、でした。
- 主人公の気持ちの説明として適切な物を選択することが、正解率90%で、全国平均より21.6ポイント高いです。
- 物語から伝わってくることを考え、文章の□に入る内容を書くことの正答率が全国平均より8.3ポイント低いです。授業の中で、音読の充実を図り、読み取る力を付けていきます。

【算数】

- カップケーキ7個分の値段を、 $1470 \div 3$ で求めることができるわけを書くことが正答率100%で、全国平均より24ポイント高いです。
- 14と12の最小公倍数を求めることが全国平均より17.8ポイント高いです。
- しめされたプログラムで書くことができる図形を選ぶことでは、全国平均より12.4ポイント高いです。
- 1年生の希望をよりかなえるための得点の求め方と答えを書くことが全国平均より17.7ポイント低いです。目的に応じて分類整理されたデータの特徴を捉えること、目的に応じてグラフを選択し、データの特徴や傾向を読み取る力を付けていきます。
- 果汁40%含まれている飲み物の量が1000mLの時の果汁量を書くことが全国平均より14.6ポイント低いです。割合の問題については、全体的にポイントが低い結果でした。日常的な場面に対応させながら割合について理解させたり、図や式などを用いて、基準量と比較量の関係を表したりできるよう、指導していきます。

【理科】

- 自分の観察の記録と新たに追加された他者の観察の記録を基に、問題に対するまとめを見直して書くことが正答率100%で、全国平均より32.5ポイント高いです。
- 鉄棒についての水滴と氷の粒は、何が変化したものかを書くことでは、全国平均より18ポイント高いです。
- 昆虫の体のつくりの特徴を基に、ナナホシテントウが昆虫であるかどうかを説明するための視点を選ぶことでは、全国平均より13.9ポイント高いです。
- 育ち方と主な食べ物の二次元の表から気づいたことを基に、昆虫の食べ物に関する問題を見いだし選ぶことが全国平均より5.5ポイント低いです。授業中において考えの交流の場を使って、提示された情報を、複数の視点で分析、解釈し、自分の考えがもてる力をつけていきます。
- 結果から言えることは、提示された結果のどこの分析したものなのかを選ぶことが全国平均より14.6ポイント低いです。授業の中で、表やグラフを作成し、その書き方、読み取り方の学習を行う中で、資料の読み取り方の理解を深めます。

## <学習状況調査>

- 100%の児童が、自分でやると決めたことは、やりとげるようにしていると答えています。全国平均と比べて12.8ポイント高いです。
- 授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んだ人が90%で、全国平均と比べると12.7ポイント高いです。
- 難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦している人は、90%で、全国平均と比べると17.5ポイント高いです。
- 将来の夢や目標をもっている人は70%で全国平均と比べて9.0ポイント低いです。キャリア教育の充実を図り、将来の夢や目標がもてるように応援をしていきます。
- 学校で、**授業中に自分で調べる場面**で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますかでは、週1回以上と答えている人が70%で、全国平均と比べると6.1ポイント低いです。
- 学校で、**学級の友達と意見交流する場面**で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますかでは、週1回以上と答えている人が40%で、全国平均と比べると12.4ポイント低いです。学校でのICT活用の充実を図り、授業の中で活用できるよう、改善していきます。

## ※学校としての対応・目標

- ◎授業では、音読、読書をする時間の確保を行い、読む力を高めます。
- ◎授業では、聞き方やふりかえりの話型を掲示し、全校で共有することで意識を高めていきます。
- ◎「漢字検定」「計算検定」を各学期末に実施して、基礎基本の定着を図ります。
- ◎「土居小タイム(放課後学習)」「主体的な学習の基盤作り事業(学サポ)」の充実を図り、国語や算数の基礎基本と共に、発展問題にも取り組みます。
- ◎家庭と連携し、「家庭学習の手引き」「家庭学習がんばりカード」を活用して「10分×学年+10分」の家庭学習を児童が主体的にできることを目指します。  
また、週末課題として、読書、自主学習、作文・日記に取り組みます。
- ◎読書では、自分の思いや願いを大切にしながら本を選び、一人読みと共に親子読書の推進に努めます。
- ◎携帯電話やスマートフォン、タブレットなどに使い方について、学級指導を行ったり、学級懇談や人権PTAなどで保護者の方と共に考える機会を持ったりして、よりよい使い方ができるように取り組みます。

以上のような学校の指導意図をご理解いただき、ご家庭でもご協力いただきますよう、  
よろしくお願いいたします。